

◆都立高校入試に導入される「英語スピーキングテスト」とは？

東京都教育委員会はベネッセ・コーポレーションと協定を結び、令和5年度都立高校入試(令和5年2月実施)において英語スピーキングテストの結果を活用しようとしています。

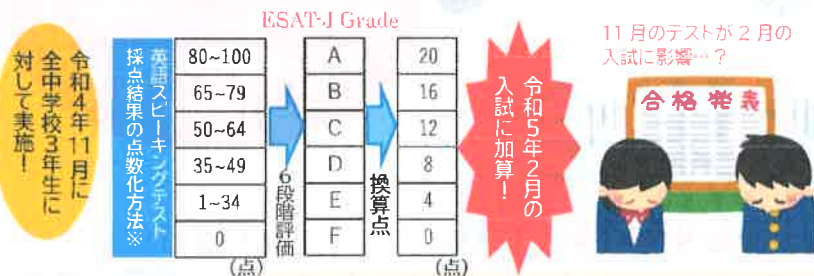
2022年11月27日に、全公立中学3年生を対象に、イヤホンから流れる問題に一人ひとりが答え、音声で録音されるテストが行われ、フィリピンの組織により採点され、1月に結果が返却されて、都立高校入試総合得点に20点満点で加算がされます。



納得できる採点と加算が行われるのですよね？

英語スピーキングテスト採点結果を100点満点として…

65点ならB評価で16点が入試に加算。64点ならC評価で12点加算。1点の違いで入試の総合得点に4点もの差が出る。逆に、スピーキングで50点であっても、64点の生徒と換算点は変わらない。スピーキングの1点差で合否に影響が出る場合もあれば、14点差でも変わらないこともある。



令和4年11月に全中学校3年生に実施! ※正式決定は令和5年度都立高等学校入学者選抜実施要項に定める予定

評価基準は「コミュニケーションの達成度」「言語使用」「音声」をそれぞれ4段階で評価するとしていますが、厳密な区別はつくのでしょうか?

テスト結果は左の表のように100点満点を6段階(A~F)で評価し、最高20点の換算点が調査書点として加算されますが、アチーブメントテストとして行うものを入試に利用することになるために、換算によって合否に不合理な影響が出ます。

また2月の学力検査と違い、開示請求をしても得点の具体的な理由は明らかにされないことになっています。

このような仕組みのまま受験生や保護者の皆さんは納得できますか?



個人情報きちんと保護されますよね? 利益相反などはないですよね?

全ての公立中3年生の名前と顔写真の情報、テスト結果が、私企業に委ねられることとなります。個人情報の匿名化は行われるのか、大量の個人データを本当に安全に適切に管理できるのか、不安を感じる生徒や保護者の声が聞こえてきますか?

またベネッセは各種英語スピーキング講座を運営しています。テスト実施業者がそのような事業を行っていることは利益相反とは言わないのですか?

不受験者はどうなるの?

予備日での受験も可能ですが、最終的に受験していない生徒が必ず出ます。その生徒達は2月の英語学力検査(筆記試験)の得点から、所定の方法で「仮のESAT-J結果」つまり得点を算出するとしています。学力検査得点からESAT-J得点を算出できる根拠は?という疑問に、都教委は「具体的な相関関係のデータはただ今持っておりません。」(5/27 都議会文教委員会)と答えています。欠けている得点を、特に根拠なく他から補って使ってよいということですか?入試ってそういうものでしたっけ?

受験校決定に影響はないのですよね?

テスト結果は1月12日に知らされるようです。ところでこれまで受験生は中学校での三者面談等も経て、受験校をほぼ12月中に決めていましたが、そうすると、もしかしてESAT-Jの得点によってはここから再度受験校を変更するかもしれないということ?先生からすると調査書の作成や完成が遅くなるということ?受験生の皆さん、先生方これで大丈夫ですか?



「似てるけど違う」テストを受けている子ども達がいるってホントですか?

現在都内では、素人目でも(いえ、専門家から見ても)ESAT-Jとそっくりのベネッセの英語テストGTEC Coreを全校で実施している区市町村が9つあります(不実施42[6/6 調査時点])。今回のような形式のテストは事前に経験を積んだ方が確実に有利になりませんか?地域差なのだから仕方がないということですか?

この問題は東京都だけの問題ではありません! 東京都を足掛かりに全国に広がっていく可能性も大いにあります。しかしこれだけ深刻な問題にもかかわらず、現場や保護者の疑問に対し、都教委からの十分な説明がありません。